

災害は、いつ、どこで起るのかわかりません。

自分は大丈夫だと 思っていないませんか？

今、災害が起きたら…あなたはどうしますか？

今、まさに、災害時の行動を見直し、
防災対策を進めるときです。
できることから始めましょう。

◆家族や地域で話し合う（4ページ参照）

災害発生時の安全な場所や避難場所、連絡を取る手段など家族や地域で話し合い、事前に決めておきましょう。

◆気象・防災情報に十分注意（4ページ参照）

普段からテレビやラジオ等で気象情報に注意するとともに、市からの防災情報も確認しましょう。

◆持ち出し品の確認（5ページ参照）

必要最小限の必需品をできるだけ一つにまとめ、取り出しやすい場所に備えておきましょう。

◆避難所の確認（6ページ参照）

最寄りの指定避難場所を確認し、夜間でも速やかに避難できるよう、前もって安全なルートを確認しておきましょう。



自らの命は、自らが守る!

できることから防災対策を進めよう!

東日本大震災や阪神・淡路大震災のように、いつ、どこで大規模災害が起こるかわかりません。

災害の少ない地域と言われる高梁市でも、昨年の台風12号では、市内の一部に避難勧告が発令され、家屋や道路、農地などに大きな被害を及ぼしました。

災害が発生した場合、市役所・消防・警察などの行政機関は、全力で救援活動にあたります。

しかし、道路や交通機関、救助活動にあたる職員も被災するため、

救援活動を迅速に行うことができない場合があります。

一人一人が日ごろから災害に対する意識を強く持ち、いざという時に備え、防災対策を進めましょう。

防災対策は 「高梁市防災マップ」で!

この防災マップには、大雨によって高梁川、成羽川の水が溢れた場合に予想される浸水範囲と水深、土砂災害による危険区域、避難場所、公共機関等が示してあります。いざというときに備え、大雨による浸水やがけ崩れのおそれのある場所などを理解しておき、避難場所までの経路を確認しておきましょう。(お手元にはない場合は、市ホームページからも見ることができます。)



■ 問い合わせ先
総務課庶務管財係 ☎0207